

平成28年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

| | | | | | |
|--|------------------------|------------------------|--------------------------|------|----------|
| 所属 | かながわ外国人 すまいサポートセンター | 職名 | 理事長 | 助成金額 | 300,000円 |
| 氏名 | 裴 安 印 | メール アドレス | sumai.sc@sumasen.com | | |
| 研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。） | | | | | |
| 外国籍住民及び外国につながる住民の入居と生活支援事業の拡充 | | | | | |
| 助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。） | | | | | |
| <p>I.外国籍住民及び外国につながる住民の入居と生活のための相談事業の拡充</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在行っている英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、コリア語、日本語6言語での対応を充実させるために、新たに英語1人、中国語1人のスタッフを増員した。 2. 今まで1.5人体制で対応していたが、相談件数の増加や難しい相談内容に的確に対応するために、1. のスタッフ増員に伴い、スタッフを一日2.5～3人確保することができた。 3. 相談者とともに、公営住宅の申し込みや役所の手続き、司法書士や弁護士への面談など、関係機関への同行を積極的に実行することが出来た。（年間25件） <p>II.スタッフ研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当団体が主催して、スタッフの能力向上のための研修会を年4回実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「外国籍県民かながわ会議について」 ・「子どもたちが未来を拓く！ ～教室の中の多文化共生～」 ・「横浜市中区若葉町フィールドワーク」 ・「多文化共生入門講座 ～在日外国人の現状～」 2. 幅広い連携を図り、相談に必要な知識を身につけ相談業務に生かすために、他団体、機関が行う研修に積極的に参加し、各スタッフが多くの研修に参加することが出来た。 <p><主な研修内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「青司協フォーラム」 ・関係不動産店での研修 計4件 <p>*まとめ</p> <p>相談業務の充実をめざし、スタッフの増員や研修の実施など積極的に取り組むことによりスタッフの相談に対する姿勢や相談対応能力、問題解決能力及び資質向上に向けた意欲を高めることができた。このことにより、以前にもまして相談者からじっくり話を聞き、寄り添い、関係機関への同行など丁寧な対応が実施できた。またこれば困窮、困難な相談が増える近年において相談対応充実のために欠かせない要素であると考えます。</p> <p>スタッフの増員により、一人ひとりが余裕をもちながら一つの案件に取り組むことができました、複数でケースカンファレンスをしながら相談対応することができるようになり問題解決の幅を広げる良い機会となった。</p> <p>今後は、今年度実施できなかった6言語以外の言語（特にネパール語やタガログ語、ベトナム語、タイ語などの必要性が高まっている言語）スタッフを確保するとともに、より丁寧なサポートを目指し、スタッフの継続的な資質向上、関係機関への通訳同行などを充実させて行く必要がある。</p> | | | | | |
| 助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。） | | | | | |
| 発表者氏名 (著者・講演者) | 発表課題名 (著書名・演題) | 発表学術誌名 (著書発行所・講演学会) | 学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月) | | |
| | | | | | |